

1. 科目名 (単位数)	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ (編入生) (2 単位)	3. 科目番号	SCMP3184
2. 授業担当教員	森田 和美		
4. 授業形態	講義、演習、討論	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>精神保健福祉援助実習指導Ⅰ、Ⅱ、Ⅲは2年時～3年時にかけて、連続して、かつ各実習と並行して、実習事前の準備、実習中の指導、及び実習事後学習を行うようになっている。</p> <p>精神保健福祉援助実習指導Ⅱは、ソーシャルワーク基礎実習に向けての具体的な準備、事後学習、精神保健福祉援助実習第一段階の準備を行い、終了した時点で、下記の目標を達成することが期待される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 実習コンピテンステストを実施し、実習に必要な基礎的知識の定着を図る。 2) 実習計画の作成を通じて実習の目的を明確化、具体化できる。 3) 事前訪問を実施し、実習生、授業担当教員、実習指導者(スーパーバイザー)との協議を踏まえた実習計画を完成させる。 4) 相談援助技術について理解を深め、実習における専門技術習得のための具体的方法について理解する。 5) 個人のプライバシーの保護と守秘義務について理解する。 6) スーパービジョンについて理解し、適切なスーパービジョンを受ける準備をする。 7) 記録の意義について理解のうえ、適切な記録の記入ができる。 8) 実習目標と実践を照合し自己評価して、自己の課題を明瞭に説明できる。 9) 実習を総合的に評価し、課題を明確化、文書化できる。 		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> ① 精神保健福祉援助実習の意義について理解する。 ② 精神障害者のおかれている現状を理解し、その生活の実態や生活上の困難について理解する。 ③ 精神保健福祉援助実習に係る個別指導及び集団指導を通して、精神保健福祉援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し、実践的な技術等を体得する。 ④ 精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得する。 ⑤ 具体的な体験や援助活動を、専門的知識および技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。 		
9. アサインメント(宿題)及びレポート課題	<p>第1回目において、以下の内容について、具体的な提出物等の指示を出す</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実習コンピテンス確認テストⅠ・Ⅱ(合格点に達するまで再テストを行う) 2. 配属された実習施設・機関の概要を調べレポートにまとめる(2000～4000字) 3. 実習施設の概要、実習プログラム(案)の作成 <p>* 予習課題や探求的な課題を積極的に取り組み、主体的、対話型の学習によって理解を確かにすると共に問題解決力を培うように努めること。</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】</p> <p>精神保健福祉士養成セミナー編集委員会編集 『新版精神保健福祉士養成セミナー 第8巻 第6版 精神保健福祉援助実習指導・現場実習』へるす出版、(この教科書は「精神保健福祉援助実習指導Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」共通)2017。 東京福祉大学『社会福祉士・精神保健福祉士 実習の手引き』※講義にて配布 東京福祉大学『社会福祉士・精神保健福祉士 学習の手引き』※講義にて配布</p> <p>【参考書】</p> <p>精神保健福祉白書編集委員会編集『精神保健福祉白書 2017年版』中央法規。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実習に向けて必要になる事前知識が身についている。 2. 実習に必要な書類の準備ができる。 3. 実習事後に実習での学びを言語化できる。 <p>○評定の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実習コンピテンス確認テスト 20% 2. 実習に伴う提出物 30% 3. 実習事後の振り返りのための課題 20% 4. 授業への積極的参加態度 30% 		
12. 受講生へのメッセージ	この授業は実習に直結しています。この授業期間中に、実習先の配属が決定し、具体的に実習に向けての学習がスタートします。積極的な授業参加を期待します。		
13. オフィスアワー	後日通知します		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・精神保健福祉援助実習指導Ⅰの振り返りと確認 ・精神保健福祉援助実習指導Ⅱの講義内容、進め方の説明 : 実習までの流れの確認	事前学習	精神保健福祉援助実習指導Ⅰで学んだことを振り返る 実習コンピテンス確認テストの実施に向けて自己学習を行う
		事後学習	実習に向けての課題を書きだし、実習までに解消する方法を考える
第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・実習記録の理解 ・実習記録の意義・書き方を理解する ・実習記録の取り扱い等に関する説明 	事前学習	テキスト該当項目を熟読する
		事後学習	日々の出来事を選択し、実習記録に記入する
第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・相談援助技術の理解と実習における実践 ・実習場面において必要となる精神保健福祉士としての技術を学ぶ ・実習記録の理解② ・実習記録の書き方演習 	事前学習	精神保健福祉士として必要な技術について復習する
		事後学習	授業で学んだことをまとめる 実習までにやるべき自分の課題を書き出す

第4回	<ul style="list-style-type: none"> ・ケースワーク記録の理解 ：個別援助実践の意義を理解する ：ケース記録の意義を理解する ：ケース記録の全体を把握する 	事前学習	『学習の手引き』のケースワーク記録見本に目を通す
		事後学習	実習において個別援助を実践する意味についてまとめる
第5回	<ul style="list-style-type: none"> ・ケースワーク記録の理解 ：アセスメントについて ：ジェノグラムとエコマップについて ：事例を用いてケース記録書き方演習 	事前学習	アセスメントとは何か調べる
		事後学習	自分に対するジェノグラムとエコマップを作成する 授業で学んだことを活かして、ケースワーク記録に記入する
第6回	<ul style="list-style-type: none"> ・ケースワーク記録の理解 ：プランニング・インターベンションと評価について ：事例を用いてケース記録書き方演習 	事前学習	プランニングとは何か調べる
		事後学習	授業で学んだことを活かして、ケースワーク記録に記入する
第7回	<ul style="list-style-type: none"> ・ケースワーク記録の理解 ：事例を用いたケースワーク演習① 	事前学習	あらかじめ配布された事例を読み、わからない用語を調べる
		事後学習	授業で学んだことを活かして、ケースワーク記録に記入する
第8回	<ul style="list-style-type: none"> ・ケースワーク記録の理解 ：事例を用いたケースワーク演習② 	事前学習	あらかじめ配布された事例を読み、わからない用語を調べる
		事後学習	授業で学んだことを活かして、ケースワーク記録に記入する
第9回	<ul style="list-style-type: none"> ・実習プログラミングシートの理解 ・個人情報の保護 ：個人情報保護法、精神保健福祉士法、倫理綱領など専門職における秘密保持義務を理解する 	事前学習	実習の手引きにある実習プログラミングシートに目を通す
		事後学習	実習において秘密を保持する必要性やそれが困難となる場面などを想定しどのように対応すべきか、考察を深める
第10回	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの実習における課題を理解する ：実習の手引きに書かれた内容を理解するとともに、自己の実習課題を再確認する 	事前学習	『実習の手引き』のそれぞれの実習の目的に目を通す
		事後学習	実習で何を学びたいか学習ノートに書き出す
第11回	<ul style="list-style-type: none"> ・実習配属先について理解を深める ：配属先実習施設に関する情報収集 ：施設の概要、実習計画の作成について理解する 	事前学習	『学習の手引き』の実習施設の概要、実習プログラム（案）見本に目を通す
		事後学習	配属先実習施設についてホームページ等を利用して情報を収集する
第12回	<ul style="list-style-type: none"> ・実習施設の概要、実習プログラム（案）の作成 ：自己の実習の意義、目的を再確認する ：実習施設の概要、実習プログラム（案）の記入と添削・確認 	事前学習	実習施設の概要、実習プログラム（案）を作成する
		事後学習	施設の概要、実習計画について、添削された箇所を再度修正する
第13回	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパービジョンと巡回指導の理解 ：スーパービジョンについて理解する ：巡回指導の目的と内容を理解する ・実習計画の完成 ：スーパーバイザーとの協議に関する説明と確認 	事前学習	テキスト該当項目を熟読する
		事後学習	実習巡回教員への挨拶用紙の記入をし、各自実習巡回教員に挨拶に行く
第14回	<ul style="list-style-type: none"> ・事前訪問に向けた準備 ：事前訪問の目的と意義の確認 ：実習計画においてスーパーバイザーと協議したい点の確認 	事前学習	テキスト該当項目を熟読する
		事後学習	見学実習の目的と意義をまとめる 見学実習の日程調整を各自行う
第15回	<ul style="list-style-type: none"> ・学習のまとめ ・実習における契約構造の説明と実習生の義務、権利について確認 ・SW基礎実習／精神保健福祉援助実習第一段階に向けて最終確認 	事前学習	施設実習までの課題を書きだす
		事後学習	実習記録への記名等実習に向けての最終的な準備を行う

実習及び実習コンピテンス関係の流れ ※編入生の状況により異なる

実習コンピテンス確認テストⅠ・Ⅱの実施	授業初期～中盤
ソーシャルワーク基礎実習	配属先決定 10～11月頃
実習施設・機関の概要レポート作成	配属先決定後
セルフアセスメントシートの実施①	授業初期～中盤
ソーシャルワーク基礎実習事前訪問	授業終盤
ソーシャルワーク基礎実習	春休み期間
セルフアセスメントの実施②	実習終了後各自実施して実習記録に閉じて提出する